

JQAAフォーラム2011

(経営品質アセッサーフォーラム)

- 1. JQAAとは**
- 2. JQAA活動紹介**
- 3. 10年度振り返り**
- 4. 11年度の取り組み**

2011年6月17日
JQAA理事長 雪竹 泰三

1. JQAAとは

**経営革新を志す仲間が
実践力・推進力を高めるために
学びあうコミュニティです。**

《JQAA理事の行動指針》

- ① 広く経営革新に取り組む経営者・推進者・アセッサーの
要望・期待の変化をタイムリーに把握し、
- ② その要望・期待にそった実践事例、実践手法や推進の
仕方などについて相互研鑽していくことで、
- ③ 参加者全員が活動成果を共有し、同じ志を持った
人的ネットワーク構築の手助けをする。

2. JQAA活動紹介

■ 学習活動(学習部会)：相互研鑽の場の提供

- ・研究会（講師から学ぶ）
 - 成功・失敗克服事例からの習得
 - 有効な革新技术法の実践結果からの習得
- ・実践研究会（自ら実践して学ぶ）
 - 相互研鑽による自己成長(実践の悩み解消、推進のコツ等の体得)
 - 自ら職場で実践し、振り返りを含め実践力/行動力を身に付けていく。

■ 出版活動(出版部会)：知恵袋の提供

- ・アセッサージャーナル発行
 - 自らの実践事例や成果を生み出した実践手法を掲載
 - 読者ニーズに合った“自らの実践に役立つ内容”を掲載

■ 広報活動(広報部会)：JQAAフォーラムの広報

- ・JQAA認知度向上のための広報/宣伝活動
- ・JQAAホームページの管理/運営
- ・活動報告会等のイベント運営と窓口業務、収支決算の開示
- ・内部規定、個人情報管理規程、業務委託覚書等の文書管理

3. 10年度の振り返り

3-1. 10年度当初の主な目標

3-2. 10年度の活動実績

3-3. 10年度会計報告

3-1. 10年度当初の主な目標

学習活動

■研究会の更なる充実

- ・研究テーマの魅力度アップを図る。
- ・アッセサーの口コミによる集客力アップ。(目標:平均参加者数45名)

■実践研究会の更なる充実

- ・自らの組織の革新活動を推進する上での悩みを解消する
- ・色々なケースでの経営革新実践力や推進力を身に付ける

出版活動

- ・ジャーナル16号、17号の発刊
- ・コンテンツ充実と魅力度アップ
- ・ジャーナルの認知度向上と拡販

広報活動

- ・JQAA通信の発信
- ・JQACとの連携強化
- ・JQAAWebサイトのリニューアル

3-2. 10年度の活動実績

3-2-1. 学習活動の実績

3-2-2. 出版活動の実績

3-2-3. 広報活動の実績

3-2-1. 学習活動の実績①

■ 研究会の更なる充実

- ・研究会テーマ
 - 実践事例と考え方・手法両方を半々で紹介
- ・知名度の高い講師選定
 - 既に各所で講演している方、感動を与える方

反省点

- ・平均参加者目標は達成(45.6人)も集客状況が前年より下回る

■ 実践研究会の更なる充実

- ・12名のメンバーにて活動
- ・異業種メンバー間の積極的な議論展開と相互研鑽
- ・アドバイザーからの意見も交えた気付きの場の提供

3-2-1. 学習活動の実績②

《研究会の内容》

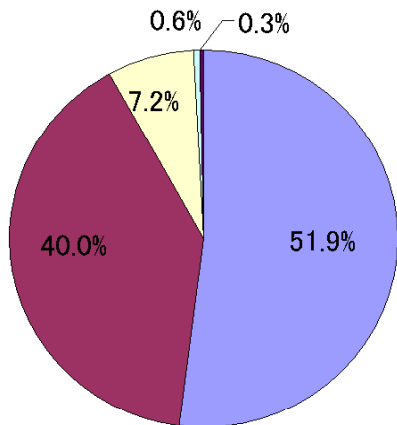
月日	講師 (敬称略)	会社名	研究テーマ	参加者
7/13	浦嶋 繁樹	NPO法人日本リスクマネジャー&コンサルタント協会専務理事	『リスクを飼いならせば未来が見える』 ～企業の社会的責任とリスクマネジメント～	15
9/ 7	田村 均	(株)リコー	健全な組織は価値観の経営を目指す ～共感を呼ぶ情報発信力が顧客を創造する～	49
10/24	林 光	知識創造工房☆ナレッジ・ファクトリー	『滅の時代』の価値創造	33
11/18	佐藤 芳男	富士通(株)	5年間の富士通営業改革のすべて ～ゼロから始める手探りの改革～	66
12/10	寄田 幸司	(医)ゆめはんな会ヨリタ歯科クリニック	ヨリタ歯科流 ワクワク楽しい会社の作り方	73
1/21	岩崎 壽夫	FMIC(株)	未来戦略シナリオで「未来を創る」 ～中長期事業計画への展開～	36
2/15	山口 芳明	ミサワホーム東関東(株)	実践現場改革～若手を育てる組織営業への取り組み	34
3月度は震災影響を鑑み休会				
4/15	香取 貴信	(有)香取感動マネジメント	私の体験したディズニーマジック+情熱のリーダーシップ	59
5月度は震災による講師業務繁忙により休会				

参加者総数:365名(568名)、非アセッサーの割合:37%(42%)、非製造業の割合:62%(59%) ()内昨年実績

3-2-1. 学習活動の実績③

《研究会アンケート結果(回収率89.3%)》

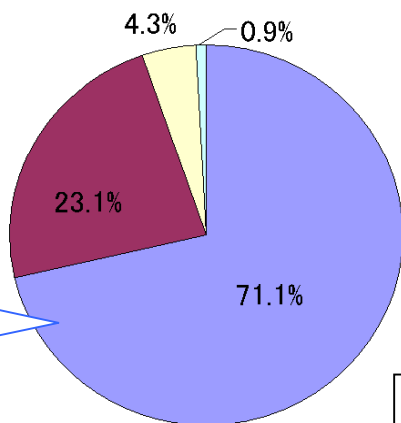
【総合】



良い以上 : 92% → 92%

- 1. とても良い
- 2. 良い
- 3. 普通
- 4. 良くない所があった
- 5. 良くない

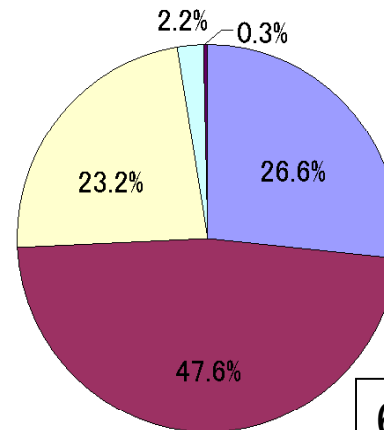
【講義内容】



「とても良い」は
65% → 71%に
増加

97% → 94%

【研究会の運営】



68% → 74%

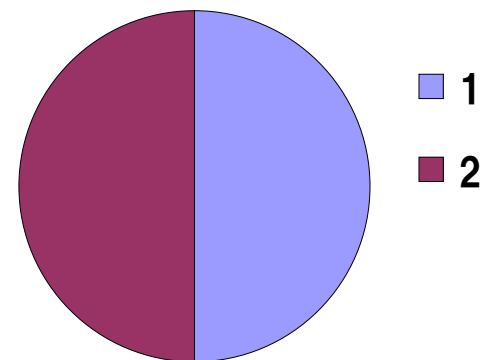
3-2-1. 学習活動の実績(4)

《第六期実践研究会アンケート結果》

質問：ケース発表後の討議について

1. 非常に参考になった
2. まあまあ参考になった
3. どちらともいえない
4. あまり参考にならない
5. まったく参考にならない

} 1+2 <好意回答> 100%



その他 自由記述抜粋

- ・発表後の議論を通し、忘れていた点や今後の社内活動に参考になる点が多くあった。
- ・参加したことで、アセスメントガイドブックの読み直しの良いきっかけとなった。
- ・自分の発表によって、現状が整理できた。
- ・仕事・会社のことを話すことができ、精神的に楽になった
- ・(他社取り組み事例を聞いて)大変な時期から これからの展望が参考になった。
- ・皆さんの取組みを聞かせていただくことにより、自らを振り返ることができた。

3-2-2. 出版活動実績(1)

■ ジャーナル16号の販売、17号の製作・発行

■ ジャーナルの内容の充実

- ・巻頭言(Front of View)を掲載
16号:寺本義也氏 17号:米倉誠一郎氏
- ・月例研究会との連携、月例研究会レポートの定常化
- ・独自取材活動:JQA Cafe

■ ジャーナル拡販への取組み

- ・経営品質賞報告会(2月)にあわせた発行、会場での販売
- ・地方協議会との連携強化:「経営革新の現場」への企業推薦
- ・バックナンバー・コピー版向け表紙改版(全号完了)
- ・Webを活用した読者との双方向コミュニケーション
ステップ1:各号の紹介充実、著者へのリンク紹介

3-2-2. 出版活動実績(2)

《ジャーナル16号の概要》

内容	執筆者
Front of View (巻頭言) 経営品質と真善美の追求	寺本 義也
経営革新の現場から 新聞の売り方を変える(エーエスエーとちぎ中央株式会社) Dream Theater (株式会社カワムラモータース) 三重県庁「経営品質向上活動」の歩み	松尾 光雄 河村 将博 萬野 智
特別寄稿 “メガネ”としての経営品質と「世界観」	伊藤 良之
レポート 「働きがいのある会社」(The Great Place to Work)とはなにか	末松 清一
報告 実践研究会活動からの学び	土屋 元彦
地方協議会便り	編集部
JQAA月例研究会報告	高橋 義郎
連載 「インプロ・シンキング」 変化し続けるビジネス界を生き抜く力(4)	池上 奈生美
連載書評 Dr.テラのアタマの本棚から(6)	寺沢 俊哉

3-2-2. 出版活動の実績(3)

《ジャーナル17号の概要》

内容	執筆者
Front of View (巻頭言) イノベーションで元気出していこう!	米倉 誠一郎
経営革新の現場から 「地域で一番!!『喜び』の集まる場所」を目指して(クア・アンド・ホテル) 愛 コミュニケーション・テクノロジー(創風システム) 街の不動産屋の挑戦(大和不動産)	川上 淳一 石塚 修 小山 陽一郎
地方協議会便り 地域企業と取り組む経営品質(東京都板橋区)	森山 玲
レポート JQA Café探訪	大林 純子
特別機構 「顧客満足の見える化」による経営革新	向山 聡
JQAA月例研究会報告 『減の時代』の価値創造 未来戦略シナリオで「未来を創る」	林 光 岩崎 壽夫
連載解説 組織の活性化を支援するコーチングスキル(3)	宮澤 美恵子
書評 『感動の会議! リーダーが会議で「人を動かす」技術』 『ホスピタリティ CS向上をめざす巣鴨信用金庫の挑戦』	後藤 直子 日下部 修 ¹³

実践！経営革新 Assessors Journal

アセッサージャーナル

アセッサーと経営革新に取り組む人のための情報誌

第17号

Front of View 一橋大学イノベーション研究センター所長 米倉誠一郎氏

イノベーションで 元気出していこう！



経営革新の現場から

「地域で一番!! 「喜び」の集まる場所」を目指して 株式会社クア・アンド・ホテル
愛 コミュニケーション・テクノロジー 株式会社創風システム
街の不動産屋の挑戦～経営品質と倫理経営を両輪にした経営～ 株式会社大和不動産

地方自治体会員

地域企業と取り組む経営品質 東京都坂区役所産業経済部産振興課経営支援係

レポート

JQA Café探訪
月刊研究会報告 / 「減の時代」の価値創造 / 未来戦略シナリオで「未来を創る」

解説

「顧客満足の見える化」による経営革新-JCSI(日本版顧客満足度指数)による取り組み
組織の活性化を支援するコーチングスキル

経営品質アセッサーフォーラム

JQAA

Japan Quality Award Assessors
経営品質アセッサーフォーラム

3-2-3. 広報活動の実績（1）

■ 運営部会を広報活動中心へシフト

- ・Webサイト機能強化に伴うJQAA活動の活性化
- ・新規活動に向けた企画立案（経営品質100問100答）
- ・総会等各種会合の運営支援（継続）

■ JQAA通信の改善

- ・200号達成
- ・配信スケジュールの共有化、計画的配信実現
- ・アッセサーでない方に対する情報発信の検討

■ JQACとの連携強化

- ・JQACとの役割分担の明確化
- ・窓口の一本化による効果的な運用・連携強化

3-2-3. 広報活動の実績(2)

■ JQAA Webサイトのリニューアル

- ・セミナー受付の自動化・受付リストの自動作成
(学習部会の負担軽減)
- ・独自サーバへの運営移行
(JQAC側の負荷削減、自由な更新頻度)
- ・読者に対する魅力度(分かり易さ、利便性、デザイン)アップ
- ・全国地方経営品質協議会へのリンク

■ 文書類の管理(HP上)

- ・JQAA規約、覚書等の更新・管理
- ・個人情報管理規程等の更新・管理

3-3. 10年度会計報告(1)

監査報告書

経営品質アセッサーフォーラム
理事長 雪竹 泰三 様

2011年6月1日

監 事

永井 洋子



2010年度会計監査

当監事は、経営品質アセッサーフォーラムの規約に基づき、2010年度（期間：2010年6月1日～2011年5月31日）における、同フォーラム活動に関わる会計報告書を監査した結果、会計処理は公正と認められる手続きによって行われていることを確認いたしましたので、その旨、監査報告いたします。

以上

3-3. 10年度会計報告(2)

2010年度 経営品質アセツサーフォーラム 会計報告書 2010(平成22)年6月1日~2011(平成23)年5月31日

(単位:円)

1. 収入の部

①学習活動(研究会)	1,365,000
②出版活動(アセツサージャーナル)	152,729
③その他雑収入	80,711
計	1,598,440

2. 支出の部

①研究会 会場利用料・講師謝礼・経費	1,049,970
②アセツサージャーナル 原稿料・経費(※)	20,295
③理事交通費・その他雑費(事務用品、振込手数料など)	389,108
計	1,459,373

※アセツサージャーナルの印刷費は、経営品質協議会にて精算時、相殺

3. 前期からの繰越金 1,094,357

4. 残高 1,233,424

4. 2011年度の取組み

- 4-1. 11年度への指針
- 4-2. 学習部会の取組み
- 4-3. 出版部会の取組み
- 4-4. 広報部会の取組み
- 4-5. 会計担当の取組み
- 4-6. 収支予算概算
- 4-7. 主な会則の変更
- 4-8. 11年度の体制

4-1. 11年度への指針

**私達JQAA理事は、
熱意を持って経営革新に取り組まれている経営者や
幹部社員、推進者の方々に対して、**

**実践上の悩み解消やスムーズな推進のコツといった
「経営革新の実践力・推進力」を体得して頂けるように、**

**少しでもお役に立てる相互研鑽の場を提供すると共に、
皆さんと同じ立場で、共に勉強させて頂くことで、**

ボランティアとして経営革新のお手伝いをさせて頂きます。

4-2. 学習部会の取組み

■ 研究会の更なる充実

- ・ 研究テーマの魅力度アップ
 - お客様の興味の理解を深める（総括アンケート実施）
 - 新しい実践事例の発掘
 - 双方向・意見交換型研究会へのトライ
- ・ 広く経営革新に取り組む方々へのリーチ
 - ストーリーにしてセミナー紹介を行う
 - アセッサー以外の参加者への情報提供・関係維持（Facebook等の活用）

■ 実践研究会の更なる充実

- ・ 第7期参加者募集と実践研究活動主旨のPR
- ・ 参加者の問題意識と期待に合った活動
- ・ 課題解決への「気付きの場」としての充実化と試行

4-3. 出版部会の取組み

■ ジャーナルの認知度向上・普及

- Webを活用した読者との双方向コミュニケーション 2
動画による記事の紹介(Youtube等)
SNS(ツイッター、Facebook)を活用したコミュニティの構築
- JQAA通信の発信頻度/内容の改善(継続)
- JQAC/地方経営品質協議会との連携(継続)

■ コンテンツ充実と魅力度アップ

- 読者を交えた企画(「経営品質Q&A(仮題)」など)
- 独自取材による記事作り
- 地方経営品質協議会の「現地記者」による記事の充実
経営革新に取り組む企業・組織の発掘・紹介
記事作りへの協力
- バックナンバー(過去資産)の活用

4-4. 広報部会の取組み（1）

■ 広報活動の強化

- ・新規活動に向けた企画立案（継続）
- ・JQACとの更なる連携強化

■ JQAA活動の認知度向上

- ・JQAC／全国地方経営品質協議会との連携（ジャーナル拡販、活動共有など）
- ・アセッサーでない方に対する情報発信の検討

■ JQAA通信の継続改善

- ・配信スケジュールの共有化、計画的配信継続、コンテンツの拡充

4-4. 広報部会の取組み(2)

■ JQAA Webサイトの拡充

- ・読者に対する魅力あるコンテンツの提供
(経営品質100問100答など)
- ・全国地方経営品質協議会との相互リンク検討

■ 文書類の管理(HP上)

- ・JQAA規約、覚書等の更新・管理
- ・個人情報管理規程等の更新・管理

4-5. 会計担当の取組み

■ 会計業務の担当変更

- ・理事会直下に専任の会計担当理事を設けたが、今年度は副理事長が担当するものとする。

■ タイムリーな収支分析と対策提起

- ・JQACとのジャーナル販売状況等の収支情報交換
- ・損益改善策の提起

■ 収支決算の透明化(継続)

- ・各種入出金管理／各種領収書発行の励行
- ・収支の見える化(理事会に定期的報告)

4-6. 収支予算概算(11年度)

(単位:円)

	費用	収入	備考
学習部会 研究会 実践研究会	900,000	1,450,000	会場・備品費:600,000円/年度 講師謝礼等:300,000円/年度 研究会:1,350,000円(年度10回・45名)/年度 実践研究会:100,000円(年度10名)/年度
出版部会 ジャーナル発行	720,000	756,000 (完売時)	印刷・製本費:180,000円(600冊)/号 執筆者謝礼分(冊子):150冊/号 拡販用(地方協議会等):30冊/号 発刊:年度2回、販売数:完売時420冊/号
広報部会 HP管理 フォーラム等	550,000	50,000	会場費用・交通費等:500,000円/年度 活動費用:50,000円/年度 雑収入:50,000円/年度
合計	2,170,000	2,256,000	収益見込:86,000円/年度

4-7. 主な会則変更

■ 理事会役員の種類と定数(第6条1項)の変更

- ・理事18名以内。この内1名を理事長、2名を副理事長、1名を会計担当理事とする。
⇒ 理事20名以内。この内1名を理事長、2名を副理事長とする。
また、特に1名の会計担当理事をおくことができる。

■ 理事の職務(第8条)の変更

- ・副理事長は、理事長を補佐し理事長に事故あるとき、または理事長が欠けたときは、その職務を代行する。
⇒ 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるときや理事長が欠けたときは、その職務を代行する。また、理事会の全体的な事項を分担するものとする。

詳細: JQAAホームページ (<http://www.jqac.com/jqaa/index.html>) をご覧下さい。

4-8. 11年度の体制

JQAAフォーラム

理事長 : 校條 亮治
副理事長: 藤代 光洋(渉外)
副理事長: 大林 純子(内部運営・会計)
監事: 熊巳 弘一
監事: 新家 修

【学習部会】

リーダー-理事: 西村 吉弘
理事: 大森 康世(実践会)
理事: 後藤 直子(研究会)
理事: 清水 光一郎(実践会)
理事: 杉浦 正宣(研究会): **新任**
理事: 榊永 慎一郎(研究会): **新任**

【出版部会】

リーダー-理事: 黒瀬 晋
理事: 島宗 秀樹
理事: 原口 佳典
理事: 平井 嘉人
理事: 青木 嗣夫: **新任**
理事: 末吉 進: **新任**

【広報部会】

リーダー-理事: 久保田 秀子
理事: 加藤 修明
理事: 吉川 博章: **新任**

新任役員

【理事】: 青木 嗣夫、吉川博章、末吉 進、杉浦 正宣、
榊永慎一郎

【監事】: 熊巳弘一、新家修

退任役員

【理事】: 小楠高弘、日下部修一、熊巳弘一、新家修、
雪竹泰三

【監事】: 永井洋子、中山博(物故者)

ご清聴ありがとうございました。